

診察時の配慮

- 胸部の診察をする旨を告げ、了承を得る。
- 診察の種類に合わせて適切に声をかける。
- 手および聴診器を清潔にし、必要に応じて温める。
- 非診察部位を覆うように配慮する。

肺の診察(前胸部)

視診

- 胸部全体を露出して診察をする。
- 解剖学的部位(胸骨角・剣状突起)を特定する。
- 皮疹の有無を確認する。
- 着色斑の有無を確認する。
- 手術痕の有無を確認する。
- 呼吸数を測定する。(30秒以上)
- 呼吸の異常(型・数・リズム・深さ)の有無を確認する。
- 形状・運動の左右差の有無を確認する。
- 鎖骨上窩・肋間の吸気時の陥凹の有無を確認する。
- * 視診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

打診

- 左(右)手を広げ、その中指の中節骨部またはDIP関節部を、曲げた右(左)中指で弾むように2回ずつ叩き打診する。
- 肺尖・側胸部を含めた胸部全体を打診する。(清音)
- 左右交互に上から下へ打診して、左右差を確認する。
- 鎖骨中線上で頭側から打診し肺肝境界を確認する。
- * 打診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

聴診

- 深呼吸をしてもらう。
- 呼気と吸気の両方を聴診する。
- 肺尖・側胸部を含めた胸部全体を聴診する。(肺泡呼吸音、気管支呼吸音、気管呼吸音)

- 左右を交互に比較して聴く。
- * 聴診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

肺の診察(背部) 視診

- 患者さんの背面に移動する。(または患者さんに背中を向けてもらう)
- 解剖学的部位(第7頸椎棘突起(隆椎)や肩甲骨下角)を特定する。
- 皮膚所見(皮疹・着色斑・手術痕など)の有無を判断する。
- 胸郭の形状、輪郭(変形・左右差など)を判断する。
- * 視診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

打診

- 背面全体を打診する。前胸部より下位まで行う。
- 左右交互に打診して、左右差を確認する。
- 両側の肺底部の清音と濁音の境界(吸気時)を示す。(片側ずつ肩甲線を頭側より打診し決定する)
- * 横隔膜の呼吸性移動を確認する。
- * 打診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

触診

- * 声音振盪を確認する。
- * 触診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

聴診

- 深呼吸をしてもらう。
- 聴診器を密着させる。
- 左右を比較して聴く。
- 背部全体を聴診する。(肺胞呼吸音、気管支呼吸音、気管呼吸音)
- 前胸部よりも下位まで広く行う。
- 呼気吸気を聴診する。
- * 声音聴診を確認する。

- * 聴診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

その他背部の診察

叩打痛

- 背面の叩打痛の有無を確認する。
- 脊椎の叩打痛の有無を確認する。(ハンマー, 拳骨のいずれでもよいが、ハンマーの場合は自身の指などの上からたたき、直接叩打しない)
- 肋骨脊柱角(CVA)の叩打痛の有無を確認する。

心臓の診察 視診

- 心尖拍動を確認する。(座位・臥位)
- 胸壁拍動を確認する。(座位・臥位)
- * 視診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

触診

- 心尖拍動の位置と広がりを手掌と指先で確認する。
- 前胸部の胸壁拍動を手掌で確認する。
- * 振戦の有無を確認する。
- * 触診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

聴診

- 4領域(心尖部・三尖弁領域・肺動脈弁領域・大動脈弁領域)を膜型で聴診する。
- I音とII音を同定する。
- II音の分裂を確認する。
- ベル型でIII音、IV音を確認する。
- 左側臥位で心尖部をベル型と膜型で聴診する。
- 収縮期雑音か拡張期雑音か区別できる。
- * 聴診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

頸部血管の診察

視診

- 外頸静脈を観察する。(正常においては、仰臥位で輪郭を認めるが、座位で認めない)
- * 上半身を45°に保ち、内頸静脈の拍動を観察する。聴診
- 下顎角直下約2cmのところの頸動脈の聴診をする。(両側)触診
- 一側ずつ頸動脈を甲状軟骨の高さで指腹を使って軽く触診をする。(聴診で雑音がないときに行う。動脈硬化が強い患者さんでは行わない)

乳房の診察(臨床実習前にはシミュレーターを用いて学習し、臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

視診

- 座位で肢位を変えながら視診を行う。
- 左右差を確認する。
- 皮膚の所見(発赤・腫脹・陥凹・発疹・手術痕など)を確認する。
- 変形の有無を確認する。
- * 乳頭の異常(陥没、異常分泌、びらん、潰瘍など)の有無を確認する。
- * 視診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)

触診

- 患者さんに適切な体位(仰臥位)をとってもらう。
- 指先と手掌で乳房全体を丁寧に触診し、異常の有無を確認する。
- * 腋窩および鎖骨上窩リンパ節を触診する。
- * 触診所見を患者さんに説明する。(臨床実習では指導医の指導のもとで行う)